

## 事業事前評価表

### 国際協力機構アフリカ部アフリカ第四課

#### 1. 基本情報

- (1) 国名：ブルキナファソ
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：全土
- (3) 案件名：道路維持管理機材整備計画（The Project for the Improvement of Equipment for Road Maintenance）

G/A 締結日：2024年1月26日

#### 2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における運輸・道路セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け

ブルキナファソ（以下、「当国」という。）は周辺を6か国に囲まれる内陸国であり、当国の道路網は南にある沿岸国であるコートジボワール、ガーナ、トーゴ、ベナンと北にある内陸国であるニジェール、マリを繋ぐ物流の結節点としての役割を担っている。当国では、物流の80%以上が道路輸送であり道路輸送量は過去5年間で毎年約10%以上増加しており、2017年と比較し2018年は15%増になる等（当国政府統計（2018年））、結節点としての役割や道路輸送の重要性は拡大している。

当国政府は、国家計画「国家経済社会開発計画」（2021年～2025年）の重点戦略の一つとして「経済成長と雇用促進に資するセクターの活性化」を掲げ、輸送交通インフラ整備と維持管理を推進し、年間を通じて道路網を適切な状態に保つことを目指している。

当国の道路網は、規格道路（国道、地方道、県道）の約15,300km（夫々6,700km、3,600km、5,000km）と非規格道路（村道、農道）約46,000kmで構成されており、インフラ開発省道路維持管理総局（Ministry of Infrastructure and Opening up, Directorate General of the Road Maintenance、以下「DGER（Direction Générale de l'Entretien Routier）」という。）は全国の規格道路を管轄している。

当国の輸出入を支える物流のほとんどを道路輸送に依存していることから、沿岸国を結ぶ国際回廊の整備が、周辺地域の最優先開発課題の一つとなっている一方で、実際の道路状況に関しては、2014年から2016年にかけての社会経済状況、及び2016年以降の悪化した治安状況により、定期的かつ一貫性のある道路網の維持管理が行われてこなかったため道路網の大部分は劣悪な状態にある。また例年、全国において雨季に数10～100カ所程度の損傷が発生し2022年には通行止めとなる道路損傷が約50件発生している等の状況も加わり、各地での道路交通に大きな支障が生じている。

このような状況に対して DGER では、5~10 年の期間で定期的に道路の補修を行う定期維持管理作業、及び道路損傷が発見された際に補修を行う整備作業（日常維持管理作業）を民間へ外注しているが、当国政府法令に従うと業者選定から工事開始まで 1 年程度を要してしまうため、時宜を得た日常維持管理作業が実施できない状況にある。加えて、道路が補修されないまま劣化が進行し、その結果、大規模な改修が必要となり維持管理費用の増加につながっている。当国政府は、調達法規や契約手続きの早期化に関する取り組みを進める予定であるも、緊急を要する整備作業に関しては即時の対応が求められるため、民間への外注ではなくインフラ開発省傘下に緊急の整備作業を直営で実施する道路維持管理作業班を設立すべく準備を進めている。作業班の運用に係る人員配置や予算措置については 2023 年 8 月時点で確保されていないものの、DGER の所掌業務を定めたインフラ開発省令（Decrees）にて、同作業班の設置が謳われており、調達予定機材の内容、台数が確定した後、新たに必要となる人員、機材駐機場、維持管理費の試算結果に基づき、インフラ開発省が予算申請を行う予定である。他方、作業に用いる道路維持管理機材の調達予算は不足しており、同班による道路維持管理を実施するには至っていない。

「道路維持管理機材整備計画」（以下、「本事業」という。）は、DGER を対象に道路維持管理機材を整備することにより、全国で増加する交通需要への対応のみならず、西アフリカ成長リングにおける各国際回廊の結節点としての重要性が増している当国道路の維持管理体制の改善を図るものである。また、当国国家計画の実現に貢献すると共に、域内の人やモノの移動における安全性の向上により、TICAD8 で掲げている地域連結性の向上に資するものであり、域内での物流改善のみならず、域内経済統合と経済成長に大きく貢献する事業と位置づけられる。

（2）運輸・道路セクターに対する我が国及び JICA の協力方針等と本事業の位置付け

対ブルキナファソ国別開発協力方針（2018 年 8 月）では「域内経済統合の促進」を重点分野の一つとし、域内経済統合の促進に資するインフラ整備等の支援を進める方針を掲げている。また、JICA 国別分析ペーパー（2015 年 4 月）においても「域内経済統合」を重点課題とし、道路インフラの整備・維持管理が必要と分析しており、本事業はこれら方針、分析に合致する。なお、本事業は、日本政府が TICAD6 及び TICAD7 で表明した三重点回廊の一つである「西アフリカ成長リング回廊」の機能強化にも資する協力であり、さらに JICA の「道路アセットマネジメント」クラスターが掲げる目標「計画、実施、評価の一連のサイクルを通じて予防保全的な維持管理を行い、道路インフラ施設の長寿命化、持続性の強化を図ることで、持続性・安全性・信頼性の高い道路交通網を

構築する」にも合致している。また、JICAの「サヘル地域の平和と安定」クワスターにおいて重視する国家の統治機能強化にも貢献することが期待される。本事業は、当国の開発課題・開発政策並びに我が国及びJICAの協力量針・分析に合致し、道路維持管理機材の整備を通じて幹線道路及び都市道路の維持管理体制強化に資するものであり、SDGsゴール9（産業と技術革新の基盤構築）及びゴール11（住み続けられるまちづくりを目指す）に貢献する。

### （3）他の援助機関の対応

当国の道路セクターに対する主な援助機関は、西アフリカ開発銀行（BOAD）、アフリカ開発銀行（AfDB）、世界銀行（WB）、イスラム開発銀行（IsDB）などで、ワガドゥグ市内の幹線道路や国際幹線道路の道路改修／建設への協力を実施している。なお、道路維持管理機材に係る他援助機関からの協力は行われていない。

## 3. 事業概要

### （1）事業概要

#### ① 事業の目的

本事業は、インフラ開発省道路維持管理総局に対して道路維持管理機材を整備することにより、首都のワガドゥグ市内及び全国の道路を対象とした維持管理体制の改善を図り、もって当国における交通の改善・効率的な物流の実現に寄与するもの。

#### ② 事業内容

##### ア) 機材の内容

モーターグレーダ（2台）、ホイールローダ（2台）、エクスカベータ（2台）、ブルドーザ（2台）、土工用ローラ（2台）、コンバインドローラ（2台）、ダンプトラック（12台）、トラクタートラック＋セミトレーラ（3台）、給水タンク車（3台）、燃料タンク車（2台）、セルフローディングコンクリートミキサ（3台）、可搬式アスファルトプラント（3台）、道路メンテナンストラック（1台）、カーゴトラック（1台）、照明付き発電機（4台）、コンテナワークショップ（1台）、モバイルワークショップ（1台）等

##### イ) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、入札補助、調達監理、ソフトコンポーネント（機材の運営・維持管理に係る実施体制の確立、機材整備の技術能力の向上等）

#### ③ 本事業の受益者（ターゲットグループ）

直接受益者：DGERの職員（95人）

最終受益者：ブルキナファソ国民（約2,032万人）及び道路利用者

### （2）総事業費

1,037 百万円（概算協力額（日本側）：1,006 百万円、ブルキナファソ国側：31 百万円）。単年度。

（3）事業実施スケジュール（協力期間）

2023 年 12 月～2025 年 11 月を予定（計 24 か月）。供与機材の引き渡し時（2025 年 10 月）をもって事業完成とする。

（4）事業実施体制

1）事業実施機関：インフラ開発省道路維持管理総局（Ministry of Infrastructure and Opening up, Directorate General of the Road Maintenance）

2）運営・維持管理機関：インフラ開発省道路維持管理総局

（Ministry of Infrastructure and Opening up, Directorate General of the Road Maintenance）

（5）他事業、他援助機関等との連携・役割分担

1）我が国の援助活動

技術協力「道路維持管理能力向上プロジェクト」（2021 年～2024 年）により、ワガドゥグ市の道路維持管理計画策定能力向上及び道路維持管理作業班設立等を目的に本事業の実施機関を支援している。また、JICA では道路アセットマネジメントクラスターにおいて、道路維持管理体制の整備を通じた道路整備後の長寿命化を図ることにより持続性、安全性、信頼性の高い道路交通網の構築に貢献することを目指しており、既往の JICA 事業の知見の集積に加え、土木学会との覚書締結により学術機関や民間企業との連携を通じ道路アセットマネジメントプラットフォームを立ち上げ、効率・効果的な支援ができる体制を構築している。本事業では、計画、施工、維持管理の一連のサイクル構築を見据えた機材を選定する等、同プラットフォームに集積された知見も活用している。また、技術協力と機材整備の組み合わせにより DGER 道路維持管理作業班による施工実績が持続的な道路維持管理のモデルとなることで、将来における研修等を通じた域内への技術移転等も検討が可能となる。

2）他援助機関等の援助活動

連携・役割分担は特になし。

（6）環境社会配慮

1）環境社会配慮

① カテゴリ分類 C

② カテゴリ分類の根拠 本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

（7）横断的事項

特になし。

(8) ジェンダー分類：【対象外】■GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

＜活動内容/分類理由＞ジェンダーの視点に立って調査を実施し、先方政府とジェンダー課題に対応する取り組みについて協議したものの、ジェンダー平等や女性のエンパワメントに資する具体的な取組や指標等の設定に至らなかったため。

(9) その他特記事項：安全対策

当国では2022年に2回のクーデターが発生し、その後民政移管に向けたプロセスが進行中であるが、不安的な治安情勢が続いている。邦人関係者の渡航はワガドゥグ市内に限定し、滞在期間は必要最小限に留める。邦人関係者の現地渡航時は、事業実施機関等関係者との情報収集・連絡協議体制の構築を行うとともに、万一の治安悪化に備え、宿舎での待機用食料、医薬品等の準備、屋外での活動時における退避施設の確保、市内移動時のリスクエリアの回避などの安全対策を講じることとする。なお、邦人関係者が現地渡航できない場合は、リモートや現地代理店を活用した調達手続き及び初期操作指導に加え、ソフトコンポーネントを本邦で実施することを検討する。

#### 4. 事業効果

(1) 定量的効果

1) アウトカム（運用・効果指標）

| 指標名   | 基準値<br>(2023年実績値) | 目標値(2028年)<br>【事業完成3年後】 |
|---|-------------------|-------------------------|
| 直営作業班による緊急を要する洪水等で損傷した道路の補修箇所（箇所／年）               | 0                 | 48                      |
| 直営作業班による緊急を要する未舗装道路の補修距離（km／年）                    | 0                 | 38.4                    |
| 直営作業班による緊急を要するポットホール・クラックの補修面積（m <sup>2</sup> ／年） | 0                 | 1,920                   |

(2) 定性的効果

- 洪水等で遮断された国際幹線道路等が早期に復旧する
- 当国全土で円滑な交通が確保される
- 社会サービスへのアクセスが改善される（子供の通学、病人・妊産婦の医療施設への通院、緊急移送等が安定的に実施できる）

#### 5. 前提条件・外部条件

クーデターなど不安定な政治情勢による治安の悪化、行政機能の停止などが発生しない

## 6. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

アルメニア共和国向け無償資金協力「エレバン市道路維持管理機材整備計画」（評価年度 2007 年）の事後評価等では、整備機材のスペアパーツの発注から到着までに長時間を要し、その間機材を使用できない事例があった。発注から調達までの期間を見越したスペアパーツの確保が必要であったことから、本事業では、当国やその近隣諸国の販売代理店においてスペアパーツが入手可能な機材選定を行うとともに、調達期間を見越したスペアパーツの確保に留意する。

## 7. 評価結果

本事業は、当国の開発課題・開発政策並びに我が国及び JICA の協力方針・分析に合致し、道路維持管理機材を整備することにより、首都のワガドゥグ市内及び全国の道路を対象とした維持管理体制の改善を通じて当国における交通の改善・効率的な物流の実現に資するものであり、SDGs ゴール 9（産業と技術革新の基盤構築）及びゴール 11（住み続けられるまちづくりを目指す）に貢献すると考えられることから、事業の実施を支援する必要性は高い。

## 8. 今後の評価計画

- (1) 今後の評価に用いる指標  
4. のとおり。
- (2) 今後の評価スケジュール  
事業完成 3 年後 事後評価

以 上

別添資料 道路維持管理機材整備計画 地図

道路維持管理機材整備計画 地図



出典 : worldometer ([burkina\\_road\\_map.gif](http://burkina_road_map.gif) (2200 × 1555) (worldometers.info))



出典 : MAP illustrators ([Editable\\_City\\_Map\\_of\\_Ouagadougou](http://Editable_City_Map_of_Ouagadougou) – Map Illustrators (map-illustrators.com))